

第 307 回薬事委員会報告

日 時 令和6年 12月 5日 (木) 15:00～15 : 40
場 所 旧本館1階 がんミーティング室
出席者 堀、三宅、合馬、戸川、長谷川、小松、塩出、神村、兼重
欠席者 高松、川浪、今福、小松

議 事
Ⅰ. 医薬品新規採用の適否について
＜新規・追加申請＞

	適否	採 用 医 薬 品	削 除 医 薬 品
1	適	エナロイ錠 2mg	エベレンゾ錠20mg
2	適	エナロイ錠 4mg	エベレンゾ錠 50mg

削除医薬品が先発品の場合は、削除決定後自動的に院外専用医薬品となる。

＜切替申請＞

	適否	採 用 医 薬 品	削 除 医 薬 品
3	適	プレベナー20 水性懸濁注	バクニューバンス水性懸濁注シリンジ
4	適	ゾレア皮下注 300mg ペン	ゾレア皮下注 150mg シリンジ

Ⅱ. 後発医薬品（GE）の切替採用申請
該当なし

Ⅲ. 試薬・製剤原料等購入申請
該当なし

Ⅳ. 新規院内特殊製剤
該当なし

Ⅴ. 臨時購入医薬品（院内専用 患者限定）
新規購入品目（令和6年9月7日～令和6年11月8日）

	製 品 名	申 請 科	申 請 理 由
1	タブレクタ錠 150mg	呼吸器・乳腺・小児外科	肺癌
2	タブレクタ錠 200mg	呼吸器・乳腺・小児外科	肺癌
3	モルヒネ塩酸塩錠 10mg 「DSP」	呼吸器内科	激しい咳嗽
4	リティンパ耳科用 250μg セット	耳鼻咽喉科	慢性中耳炎
5	アルケラン錠 2mg	腫瘍・血液・感染症内科	多発性骨髄腫
6	カルケンスカプセル 100mg	腫瘍・血液・感染症内科	慢性リンパ性白血病
7	サレドカプセル 100	腫瘍・血液・感染症内科	クロウ・深頼（POEMS）症候群
8	アデムパス錠 2.5mg	循環器内科	肺動脈性肺高血圧症
9	アノーロエリプタ 30 吸入用	循環器内科	COPD
10	ビプラマイシン錠 100mg	循環器内科	培養陰性感染性心内膜炎
11	ミッドペリック L250 腹膜透析液 2.5L （排液用バッグ付）	循環器内科	末期腎不全
12	ダフクリア錠 200mg	消化器外科	偽膜性腸炎
13	アヘンチンキ「タケダ」	消化器内科	激しい下痢症状の改善及び手術後等の腸管蠕動の抑制
14	アレグラ錠 60mg	消化器内科	皮膚疾患に伴う掻痒
15	ウルソ錠 100mg	消化器内科	原発性胆汁性硬化症
16	コレチメント錠 9mg	消化器内科	潰瘍性大腸炎
17	コレバインミニ 83%	消化器内科	高コレステロール血症
18	エンシュア・H（ストロベリー）	小児科	経口摂取不良、自閉スペクトラム症
19	コートロシン Z 筋注 0.5mg	小児科	乳児癲癇性スパズム症候群
20	ジアゾキシドカプセル 25mg 「OP」	小児科	高インスリン血性低血糖症
21	ソグルーヤ皮下注 10mg	小児科	成長ホルモン分泌不全性低身長症
22	フルティフォーム 50 エアゾール 56 吸入用	小児科	気管支喘息
23	フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用	小児科	気管支喘息
24	プレベナー20 水性懸濁注	小児科	小児における肺炎球菌による侵襲性感染症の予防

25	レンビマカプセル 10mg	腎泌尿器外科	根治切除不能な腎細胞癌
26	ツムラ柴胡桂枝湯エキスパ粒 (医療用)	精神神経科	過敏性腸症候群
27	ヨウ化カリウム「日医工」	内分泌・糖尿病内科	甲状腺クリーゼ
28	ベピオゲル 2.5%	皮膚科	化膿性汗腺炎

VI. 院外専用医薬品の追加承認 (令和6年11月8日時点)

ジャイパーカ錠 50mg	ジャイパーカ錠 100mg	タバリス錠 100mg
タバリス錠 150mg	ハイゼントラ 20%皮下注 2g/10mL	ヒブデュラ配合皮下注
ブイタマーククリーム 1%		

VII. 販売名変更のご案内
該当なし

VIII. 販売中止に伴う切替採用申請および採用削除
(販売中止に伴う切替採用申請)

	区分	同効採用薬	販売中止削除薬品	在庫消尽予定時期 (経過措置期間満了日)
1	常備	リーバクト配合顆粒	アミノバクト配合顆粒	2024年12月 (2026年3月31日)

(販売中止にともなう削除)

	区分	同効採用薬	販売中止削除薬品	在庫消尽予定時期 (経過措置期間満了日)
1	常備	ノルディトロピン フレックスプロ注 10mg	ヒューマトローブ注射用 12mg	2025年6月頃 (2026年3月31日)

IX. 供給遅延・供給停止等のお知らせ
(供給遅延・供給停止等に伴う切替採用申請)

	区分	切替採用候補薬	薬効	供給遅延、停止中の採用薬
1	常備	セファゾリンナトリウム注射用 0.5g「日医工」	セフェム系抗生物質	セファゾリンNa 注射用 0.5g「NP」

X. 副作用報告

2024年9月～10月の副作用報告件数は14件であり、そのうち非重篤なものは9件、重篤なものは5件（下記記載）であった。

副作用発現日	年齢	性別	被疑薬	症状	転帰	報告者	PMDA 副作用報告
2024/08/30	82	女性	メロペネム注、タクロリムス	肝胆道系酵素上昇(G3) K値上昇(G1)	軽快*	薬剤師	無
2024/10/01	77	女性	エルデカルシトール 0.75μg	高Ca血症	軽快*	薬剤師	無
2024/10/14	62	女性	バンコマイシン、タゾピベ	血小板減少	軽快*	薬剤師	無
2024/10/17	77	男性	Nivolumab+SOX、Nivolumab	QT延長症候群に伴う Torsade de pointes	軽快*	薬剤師	無
2024/06/30	78	男性	キイトルーダ	水疱性類天疱瘡	軽快*	薬剤師	無

*医療用語では明確な定義はないが、広辞苑によれば回復は健康状態に戻ること、軽快は病気が少しよくなることを意味する。

XI. 同種同効薬：採用医薬品の適正化
該当なし

XII. その他

1. 使用量低頻度医薬品の院内削除について
(削除医薬品)

	削除医薬品	削除理由
1	アイピーディカプセル 100	2023年10月～2024年9月の処方患者数が2名であり、低頻度のため
2	ジルテックドライシロップ 1.25%	レボセチリジン塩酸塩シロップ 0.05%「サワイ」にて代用可能のため
3	インテバン坐剤 25	2023年10月～2024年9月の処方患者数が3名と低頻度であり、 ジクロフェナクNa坐剤にて代用可能のため
4	(分包品)カルボシステインドライシロップ 50%「NIG」	自動散薬調剤ロボット導入で自動分包可能なため
5	(分包品)炭酸水素ナトリウム「ケンエー」	自動散薬調剤ロボット導入で自動分包可能なため
6	(分包品)コロナール細粒 50%	自動散薬調剤ロボット導入で自動分包可能なため

2. 適応外・禁忌医薬品使用に係る申請

	申請科	薬品名	使用目的	倫理委員会審議の必要性
適応外	腎泌尿器外科	オクトレオチド酢酸塩皮下注 100 μ g 「サンド」	乳び腹水	あり
適応外	消化器内科	インフリキシマブ BS 点滴静注用 100mg 「NK」	irAE 腸炎	なし
適応外	消化器外科	オクトレオチド酢酸塩皮下注 100 μ g 「サンド」	術後リンパ漏	あり
適応外	消化器外科	エホチール注 10mg	術後リンパ漏	あり

3. 薬事ニュース No. 109 (資料1)

4. 後発医薬品使用体制加算について

2022 年 4 月以降の後発医薬品の割合は 90%以上、カットオフ値 50%以上である。

後発医薬品使用体制加算 1 (47 点→87 点：入院期間中 1 回に限り、入院初日に算定) の取得継続が可能となった。

今後も、現状を維持すべく後発医薬品の使用を推進していく。

	8 月	9 月	10 月
全医薬品の規格単位数量 (①)	537, 959	541, 999	568, 201
後発医薬品あり先発医薬品及び 後発医薬品の規格単位数量 (②)	238, 751	240, 404	246, 974
後発医薬品の規格単位数量 (③)	219, 456	220, 323	227, 418
カットオフ値の割合 (②/①)	53. 9%※	53. 2%※	53. 3%※
後発医薬品の割合 (③/②)	91. 92%	91. 65%	92. 08%

※令和 6 年度薬価改定を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いでの数値

5. バイオ後続品使用体制加算について

令和 6 年度診療報酬で新設され、(1)直近 1 年間の使用回数が 100 回以上かつ、(2)≥80%、(3)≥50%でバイオ後続品使用体制加算 (バイオ医薬品を使用する患者について入院初日に 100 点) の取得が可能となった。(1)については、年間使用回数が 100 回以上であることを確認した。

	置き換え割合 80%以上	置き換え割合 50%以上
バイオ医薬品の内、バイオ後続品の 規格単位数量の合計 ①	1, 678	5, 589
バイオ医薬品の規格単位数量の合計 ②	1, 712	8, 039
①/②	(2) 98. 0%	(3) 69. 5%
	(イ) エポエチン (ロ) リツキシマブ (ハ) トラスツズマブ (ニ) テリパラチド	(イ) ソマトロピン (ハ) エタネルセプト (ホ) ベンシズマブ (ト) インスリンアスパリット (リ) ラニビズマブ (ロ) インフリキシマブ (二) アガルシダーゼベータ (ヘ) インスリンリスプロ (チ) アダリムマブ

6. その他

※2024 年 11 月 27 日現在の総採用品目数は 2, 520 品目であり、うち後発医薬品は 548 品目 (21. 7%) である。

次回薬事委員会は、令和 7 年 2 月 5 日 (水) 15 時より病院会議室 A で行う